

# 県高校新人大会

## エペ団体

# 女子 諫早 男子 長崎工 V3

県高校新人大会は9、10日、長崎市の長崎工高体育館などで4競技が行われ、フェンシングのエペ団体の男子は長崎工、女子は諫早がそれぞれ3連覇を達成した。フルーレ団体の男子は長崎工がV3、女子は諫早商が2年ぶりの優勝。サーブ

ル団体は男女とも諫早商が制し、連覇を男子は5、女子は3に伸ばした。フェンシングの全国選抜大会は来年3月に島原市で開催。男女団体各種目の優勝校は開催地枠での出場権を獲得した。

島原と島原工の一騎打ちとなったレスリング団体は、島原が4年ぶりに制した。体操個人総合の男子は上近心(創成館)、女子は川上めい(聖和女学院)、新体操の個人総合は藤野杏(長崎女)が優勝した。(城谷桜子)

### フェンシング

- 【男子】  
 △フルーレ決勝 長崎工45-17諫早商  
 △エペ決勝 長崎工45-39諫早商  
 △サーブ決勝 諫早商45-37長崎工  
 △個人  
 △フルーレ ①尾崎咲多(長崎工)②橋口偉史理(同)③浦下遼大(同)松本真倅(同)  
 △エペ ①朝長清太郎(諫早)②畑地太璃(長崎工)③松本侑武(諫早商)橋口偉史理(長崎工)  
 △サーブ ①宮内惟颯(諫早商)②吉野禮仁(長崎工)③岩田悠希(諫早商)森山大夢(長崎工)  
 【女子】  
 △フルーレ決勝 諫早商44-25諫早工  
 △エペ決勝 諫早商45-39長崎工  
 △サーブ決勝 諫早商45-40諫早工  
 △個人  
 △フルーレ ①諫早商②長崎工③諫早  
 △エペリーグ戦  
 △サーブリーグ戦  
 長崎工45-34諫早商



フェンシング女子のエペ団体、フルーレ個人、エペ個人の3冠に輝いた諫早の山口(右) =長崎工高体育館



フェンシング男子エペ団体で活躍した長崎工の畑地。エペ個人は2位と健闘した =長崎工高体育館

### 女子 諫早

## 主力の山口が3冠

○3校がリーグ戦で競ったフェンシングの女子エペ団体は、諫早が3連覇を達成。来年3月に島原で開催される全国選抜大会出場権を獲得した。笹田監督は「勝つために一人一人が考えて戦ってくれた」と笑顔を見せた。

諫早商との初戦は緊張から動きが重く、中盤に差を詰められたが、45-44で競り勝った。続く長崎工戦は落ちていて相手を引き込む戦いでカウンターを狙い、39-29で制した。2試合とも2年生のエース山口の頑張り、佐藤光、ミルら1年生

### 男子 長崎工

## 畑地軸に競り勝つ

が呼応するように奮闘。山口は個人のエペ、フルーレと合わせて3冠に輝いた。男子のエペ団体決勝は長崎工が諫早商に競り勝ってV3。23-23から畑地で30-28とリードを奪い、最後は45-39で競り勝った。来年1月の九州選抜大会で4強入りすれば、2位の諫早商も地元開催の全国選抜に出場できる。四元監督は「昨年エペは2位だったのでタイトルを目指す。メンタル面と体力面を強化したい」と真勢の出場枠拡大へ、気合を入れ直していた。(城谷桜子)